

簡易工事「見積合わせ」情報

1. 工 事 名：岐阜大学(中津川)体育館改修電気設備工事

2. 担当部課係：施設統括部設備課電気係

3. 担 当 者：渡辺 央佑

4. 連 絡 先：058-293-2122

~~5. 現場説明日時：令和 年 月 日 () 時 分から~~

~~※現場説明参加者は、事前に担当者までご連絡ください。~~

6. 内訳明細付見積書及び文部科学省における電気工事に係る一般競争（指名競争）参加資格認定通知書の写し

提出期限：令和 6 年 6 月 17 日(月)14 時

【提出先】

国立大学法人東海国立大学機構施設統括部施設企画課施設庶務係（岐阜大学本部棟 2 階）

※shisetsu@t.gifu-u.ac.jp へご提出ください。

【内訳明細付見積書記載内容】

- ・ 工事名
- ・ 完成期限
- ・ 見積価格（見積価格には消費税を含まないこと。）
- ・ 工事費内訳明細
- ・ 建設業許可番号
- ・ 連絡先名称
- ・ 連絡先氏名
- ・ 連絡先電話番号
- ・ 連絡先 FAX 番号

※簡易工事「見積合わせ」参加資格 3～6 の規定に該当するものでないこと。

7. 岐阜大学ホームページ掲載期間：令和 6 年 6 月 10 日(月)～令和 6 年 6 月 14 日(金)

8. その他

※工事内容は、別添の特記仕様書・図面をご参照ください。

（その他にあれば記載）

岐阜大学（中津川）体育館改修電気設備工事

I 工事概要

- 1. 工事場所 中津川市苗木岩須 639-20（中津川団地構内）
- 2. 完成期限 令和 6 年 9 月 30 日（月曜日）
- 3. 建物概要

建物名称	体育館		
工種	電気設備		
構造	RS		
階数	地上 2 階		
建築基準法による	建築面積 (㎡)	(882㎡)	
	延べ面積 (㎡)	(897㎡)	
消防法施行令別表第一の区分			
改修面積 (㎡)	882㎡		
備考			

4. 工事種目（●印の付いたものが対象工事種目）

工事種目	建物別及び屋外		
	体育館		
● 電灯設備	一式		
● 動力設備	一式		
○ 電気自動車用充電設備			
○ 電熱設備			
○ 雷保護設備			
○ 受変電設備			
○ 電力貯蔵設備			
○ 発電設備			
○ 構内情報通信網設備			
○ 構内交換設備			
○ 情報表示設備			
○ 映像・音響設備			
○ 拡声設備			
○ 誘導支援設備			
○ テレビ共同受信設備			
○ 監視カメラ設備			
○ 駐車場管制設備			
○ 防犯・入退室管理設備			
○ 火災報知設備			
○ 中央監視制御設備			
● 構内配電線路	一式		
○ 構内通信線路			
● 発生材処理	一式		

- 5. 指定部分 ●無 ○有 対象部分（ ）
- 指定部分工期 年 月 日
- 6. 概成工期 ●無 ○有 令和 年 月 日（曜日）

II 工事仕様

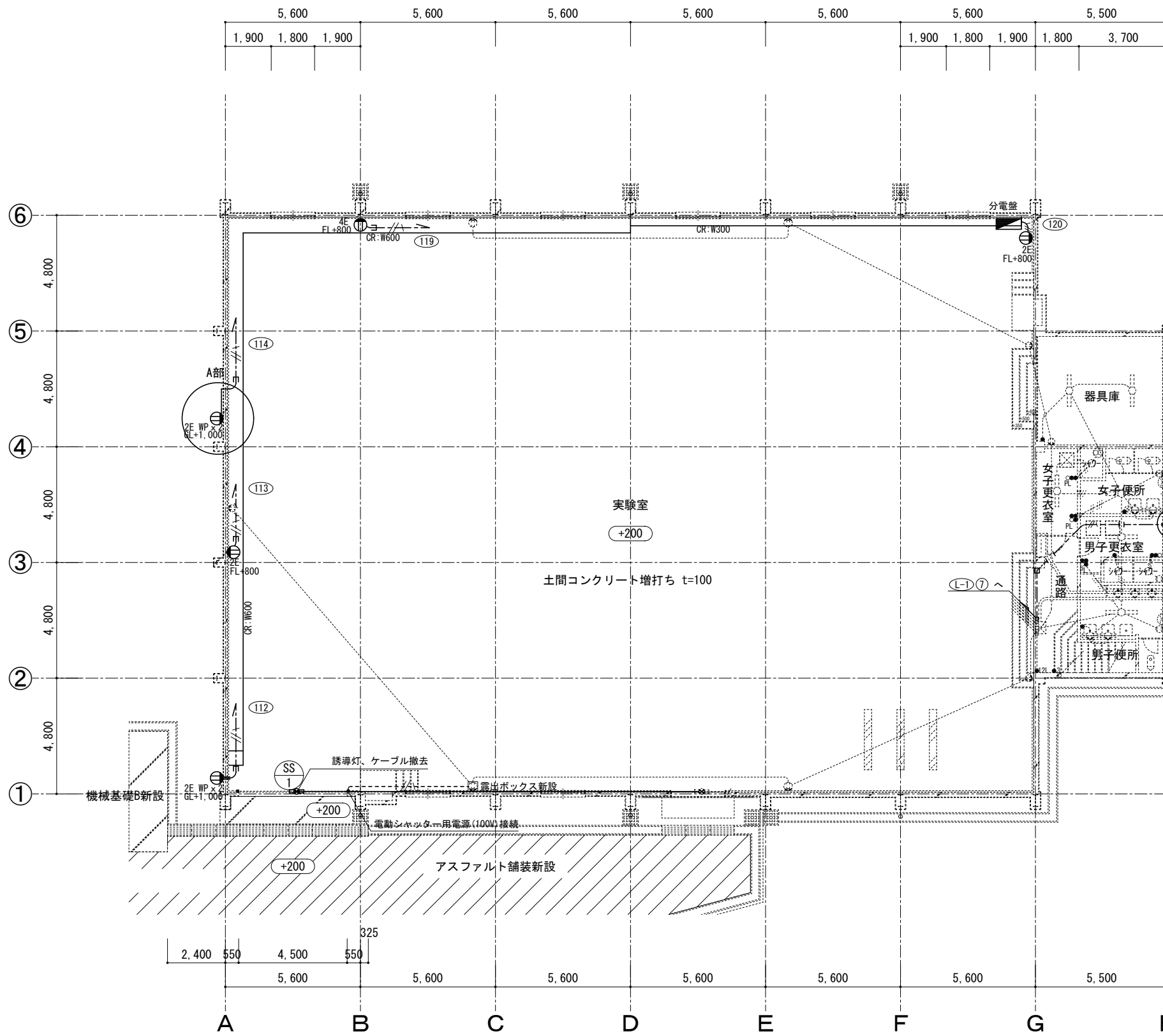
- 1. 共通仕様
 - (1) 東海国立大学機構発注工事請負等契約取扱要項別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、図面 4 枚及び本特記仕様書 1 枚によるほか、●印の付いたものを適用する。
 - 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) (令和4年版) (以下「標準仕様書」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) (令和4年版) (以下「改修標準仕様書」という。)
 - 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) (令和4年版) (以下「標準図」という。)
 - 文部科学省電気設備工事標準仕様書(特記基準) (令和4年版) (以下「文科仕様書」という。)
 - 文部科学省電気設備工事標準図(特記基準) (令和4年版) (以下「文科標準図」という。)
 - 工事写真撮影要領 (令和元年7月)
 - (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。
 - なお、機械設備工事の特記仕様書は（ ）図、建築工事の特記仕様書は（ ）図による。
- 2. 特記仕様
 - (1) 本特記仕様書の表記
 - 1) 項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。
 - 2) 項目に記載の〔第 編 . . . 〕内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 - 3) 項目に記載の〔第 編 . . . 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 - 4) 項目に記載の〈第 編 . . . 〉内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

項目	特記事項
○ 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○ 風圧力 風速 (Vo= m/s) 地面粗度区分 (○ I ○ II ○ III ○ IV) ○ 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表 ()
● 電気保安技術者 (第1編1.3.2) [第1編1.3.2]	この工事現場に下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。 項目名 電気保安技術者 1. 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者 ● 2. 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者 ● 3. 第1種電気工事士の資格を有する者 ● 4. 高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者 ● 5. 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者 ● 6. 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者 ● 7. 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者 ● 8. 第2種電気工事士の資格を有する者 ● 9. 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者 ●
○ 施工条件 (第1編1.3.3) [第1編1.3.3]	工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。
● 電源周波数	○ 50Hz ● 60Hz
● 発生材の処理等 (第1編1.3.9) [第1編1.9.1]	発生材の処理は、下記による。 (1) 引渡しを要するもの 1) 品名 _____ 2) 引渡し先 _____ 3) 集積場所 _____ 4) 集積方法 _____ (2) 特別管理産業廃棄物 1) 品名 _____ 2) 処理方法 _____ (3) 現場において再利用するもの 1) 品名 _____ 2) 使用場所 _____ (4) 再生資源化するもの 1) 品名 _____ (5) その他の発生材 1) 品名 配線用遮断器 2) 処理方法 _____
● 環境への配慮 (第1編1.4.1) [第1編1.4.1]	(1) 本工事中において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和4年2月閣議決定)」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。 (2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (3) 本学はISO14001の認証を取得しており、本学施設の使用及び業務の遂行にあたっては、本学の環境マネジメントシステム(ISO14001準拠)の運用に協力し、環境汚染の防止を図る等、環境への影響に配慮すること。

項目	特記事項
○ 機材の品質等 (第1編1.4.2) [第1編1.4.2]	(1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 下表に機材名が記載された製造業者等は、次の事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、次の事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ○ 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ○ 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ○ 安定的な供給が可能であること。 ○ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ○ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ○ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 機材名
○ 機材の検査等機材の検査に伴う試験 (第1編1.4.4~5) [第1編1.4.5~6]	監督職員が行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。 機材名 検査 試験 摘要
○ 施工調査 [第1編1.5.1~3]	事前調査 (○ 本工事 ○ 別途) 調査項目 (○ 既存資料調査 ○) 調査範囲 (○ 図示 ○) 調査方法 (○ 図示 ○)
○ 施工の検査等施工の検査に伴う試験施工の立会い等 (第1編1.5.3~5) [第1編1.6.4~6]	下記の施工部分は監督職員の施工の検査、施工の立会及び施工検査に伴う試験を受けるものとする。 施工部分 検査 立会 試験 摘要
● 完成時の提出図書 (第1編1.7.1~3) [第1編1.11.1~3]	工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。 名称 体裁等 ● 完成図 CADデータ(電子納品)及び電子データ ● " 原図 ○A1版(1部) ●A3版(1部) ○ " 複写図 製本 (A4版黒厚紙表紙金文字入り) (部) ● " 複写図 仮製本 ○A1版(1部) ●A3版(1部) ● 保全本に関する資料 ●紙媒体(1部) ○電子データ ● 工事写真 ●紙媒体(1部) ●電子データ
○ 石綿含有材料の事前調査 [第1編1.8.2~3]	※紙媒体はA4版ファイル綴じ、電子データはPDF形式とする。 電子納品は次による。 (1) 貸与する設計図CADデータの著作権者: _____ ファイル形式: _____ 貸与条件: 貸与するCADデータを本工事中における施工図又は完成図作成のため以外に使用しないこと。 (2) 電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。 (3) 電子成果品は、提出前にウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。 (4) 提出方法及びファイル形式は以下による。 CADデータ: JWW, DXF及びPDF 提出方法: CD又はDVDに保存し、1部提出する。
○ 足場その他 (第1編2.1.1) [第1編2.2.2]	○ 別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。 ○ 本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ○ 内部足場 (○ 種 ○ 種) ○ 外部足場 (○ 種 ○ 種)
○ 発生残土の処理 (第1編2.2.1) [第1編2.3.1]	○ 埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷均しとする。 ○ _____
● 金属管の塗装及び仕上げ (第1編2.7.1) [第1編2.8.1]	次の露出配管は、塗装を行う。 ● 屋内 (既設の配管、ダクト、盤類を含む)) ○ 屋外 () ○ 屋外に敷設する露出配管で溶融亜鉛メッキ仕上げを使用する場合は付着量300g/㎡以上とする。

項目	特記事項																																																												
○ 耐震措置	設備機器の固定は、次によるほか、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。 (1) 設備機器の固定は、施設の種類並びに機器の種類、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損などが生じないようにする。 ① 設計用水平地震力 機器の重量 [kN] に設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合は、設計用水平震度は、次による。 設計用標準水平震度 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器種別</th> <th rowspan="2">重要機器</th> <th colspan="2">○特定の施設</th> <th colspan="2">○一般の施設</th> </tr> <tr> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階</td> <td>機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋上及び塔屋</td> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間階</td> <td>機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地階・1階</td> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>機器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地階・1階</td> <td>防振支持の機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 ・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの ・水槽類には燃料小出タンクを含む。 ・重要機器は次のものを示す。 <ul style="list-style-type: none"> ・配電盤 ・発電装置(防災用) ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ② 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 (2) 横引き配管等の耐震指示は、施設の種類に応じたものとする。	機器種別	重要機器	○特定の施設		○一般の施設		一般機器	重要機器	一般機器	重要機器	上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0	屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	地階・1階	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	地階・1階	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
機器種別	重要機器			○特定の施設		○一般の施設																																																							
		一般機器	重要機器	一般機器	重要機器																																																								
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																								
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																								
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																								
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																								
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																								
地階・1階	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																								
	機器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																								
地階・1階	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																								
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																								
○ 既存躯体への穿孔 [第1編2.11.1~5]	はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、下記による。 ○ 走査式埋設物調査 ○ 放射線透過検査																																																												
○ 電気工事士	最大電力500 [kW] 以上の場合においても、電気工事士法(昭和35年第139号)に基づく有資格者により施工を行う。																																																												
● フラッシュプレート	フラッシュプレートは、図面に特記なき場合、 ● 金属製 (ステンレス、新金属を含む) ○ 樹脂製) とする。																																																												
● 電線の色別 (第2編2.1.3) (第3編1.1.4) [第2編2.1.4]	配線及び主回路の導体の色別は、次による。 ○ 標準仕様書による。 ● 配線及び主回路の導体の色別は、下記による。 電気方式 第1相 第2相 第3相 中性相 <table border="1"> <thead> <tr> <th>高圧</th> <th>三相3線式</th> <th>赤</th> <th>白</th> <th>青</th> <th>中性相</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">低圧</td> <td>三相3線式</td> <td>赤</td> <td>接地側</td> <td>白</td> <td>黒</td> </tr> <tr> <td>三相4線式</td> <td>赤</td> <td>青</td> <td>黒</td> <td>白</td> </tr> <tr> <td>単相2線式</td> <td>赤(青)</td> <td>接地側</td> <td>白</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">配線</td> <td>単相3線式</td> <td>赤</td> <td>青</td> <td>白</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直流2線式</td> <td>青</td> <td>白</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (1) 分岐回路の色別 分岐前の色別による。 (2) 発電回路の第2相 接地側の電線の色は黄色とする(無停電回路含む) (3) 切替回路の2次側 規定しない。 (4) 漏電遮断器回路の接地 専用接地極とした時の接地線は、監督職員と協議し、一般接地線と色別を区別する。 共通事項 配線(1)~(4)による。 左右・上下及び遠近の別は、 正面から見た状態 ア) 左右の別は、左からとする。 イ) 上下の別は、上からとし、直流2線式は、下からとする。 ウ) 遠近の別は、近いほうからとし、直流2線式は、遠いほうからとする。	高圧	三相3線式	赤	白	青	中性相	低圧	三相3線式	赤	接地側	白	黒	三相4線式	赤	青	黒	白	単相2線式	赤(青)	接地側	白		配線	単相3線式	赤	青	白		直流2線式	青	白																													
高圧	三相3線式	赤	白	青	中性相																																																								
低圧	三相3線式	赤	接地側	白	黒																																																								
	三相4線式	赤	青	黒	白																																																								
	単相2線式	赤(青)	接地側	白																																																									
配線	単相3線式	赤	青	白																																																									
	直流2線式	青	白																																																										
○ 他工事又は他工種との取り合い	図面に特記なき場合は、工事区分表による。																																																												
○ 特殊場所 <第2編2.1.1~9>	特殊場所は下記による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>特殊場所の内容</th> <th>適用する場所</th> <th>危険場所の種別</th> <th>危険物の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 湿気の多い場所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 気密性を要する場所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ガス蒸気危険場所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 粉じん危険場所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 危険物等貯蔵場所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 腐食性ガスのある場所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 爆音を受けるおそれのある場所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 爆撃を受けるおそれのある場所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 図面番号 特一1 縮尺 (A1) N.S (A3) N.S 令和6年度	特殊場所の内容	適用する場所	危険場所の種別	危険物の種類	○ 湿気の多い場所				○ 気密性を要する場所				○ ガス蒸気危険場所				○ 粉じん危険場所				○ 危険物等貯蔵場所				○ 腐食性ガスのある場所				○ 爆音を受けるおそれのある場所				○ 爆撃を受けるおそれのある場所																											
特殊場所の内容	適用する場所	危険場所の種別	危険物の種類																																																										
○ 湿気の多い場所																																																													
○ 気密性を要する場所																																																													
○ ガス蒸気危険場所																																																													
○ 粉じん危険場所																																																													
○ 危険物等貯蔵場所																																																													
○ 腐食性ガスのある場所																																																													
○ 爆音を受けるおそれのある場所																																																													
○ 爆撃を受けるおそれのある場所																																																													

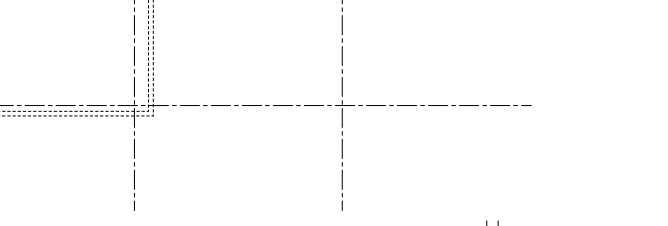
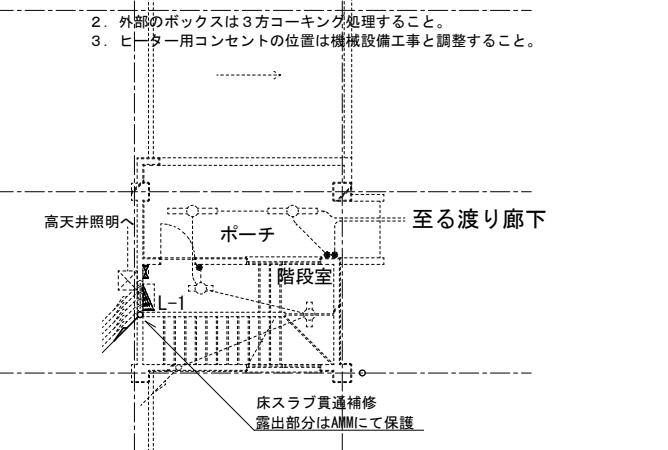
主幹	工事名	岐阜大学（中津川）体育館等改修電気設備工事
園田		東海国立大学機構 施設統括部



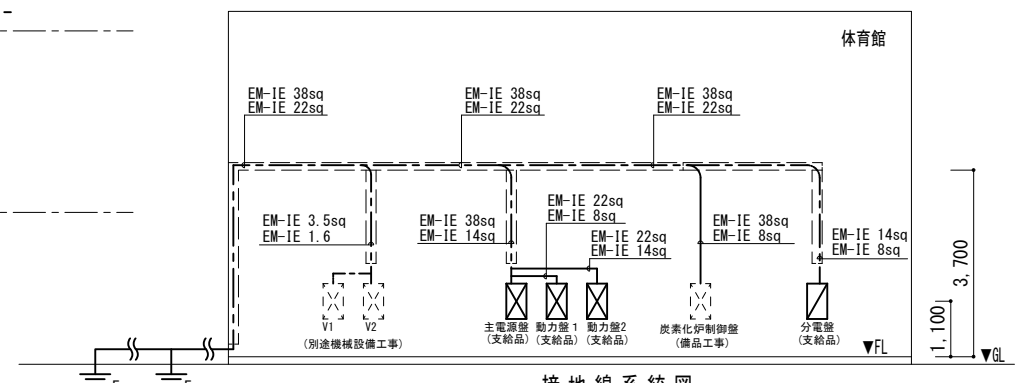
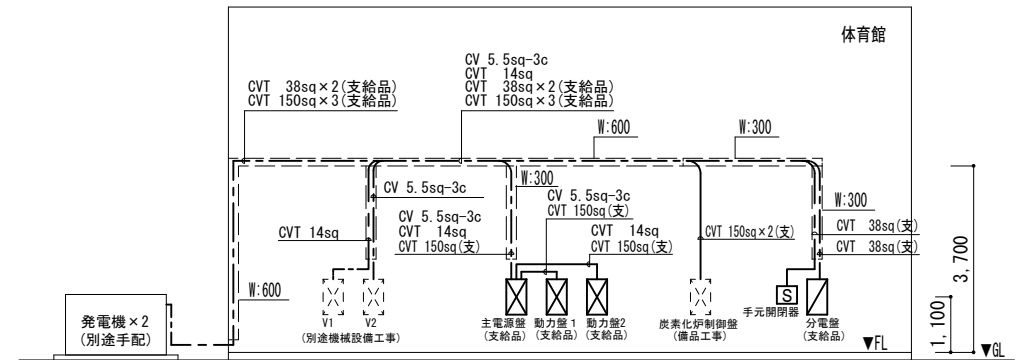
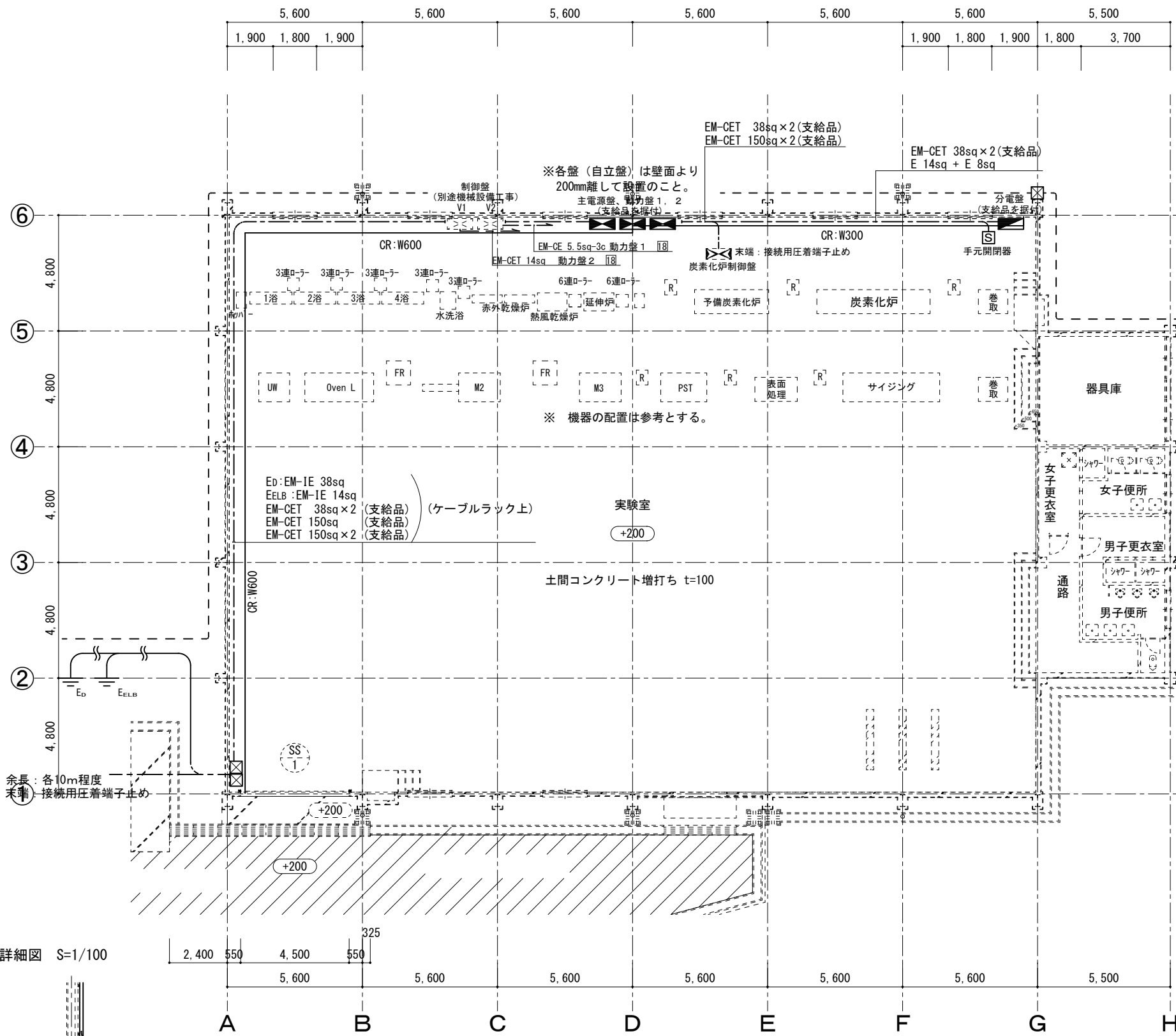
1階平面図 (改修後)

記号	名称	摘要
○	照明 蛍光灯	FL40W
□	照明 蛍光灯	FL20W
○	ダウンライト	1L**W
●	スイッチ	1P15A×1
●●	スイッチ	1P15A×2
●●●	スイッチ	1P15A×2 PL付
●●●●	スイッチ	1P15A×3 PL付
●●●●●	スイッチ	3W15A×1
⊕n	リモコンスイッチ	回路数は傍記による
⊕	コンセント	2E:2P15A×2 接地極付、4E:2P15Ax4 接地極付
⊕	コンセント	2ET:2P15Ax2 接地端子付、WP:防水型
⊕	換気扇	
□	アウトレットボックス	四角中浅
□	プルボックス	サイズは傍記による
—	立上り、引下げ	
—	露出配管配線	配管サイズ、種別は傍記による
—	天井ごろがし・ケブ 隠れ配線	
---	既設または別途工事	
X	撤去	配管内配線は配線のみ撤去

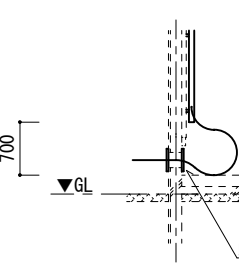
- (注記)
- 特記なき配管配線は、下記による。
 - IV 1.6×2
 - IV 1.6×3
 - IV 1.6×4
 - IV 1.6×5
 - EM-EFF 2.0-3c(1E)
 - 外部のボックスは3方コーキング処理すること。
 - ヒーター用コンセントの位置は機械設備工事と調整すること。



工事名	岐阜大学 (中津川) 体育館改修電気設備工事	図面名称	体育館 コンセント設備	図面番号	E-1
	東海国立大学機構 施設統括部	縮尺	(A1) 1/100 (A3) 1/200		令和6年度



貫通部詳細図 S=1/100



1階平面図 (改修後)

凡例

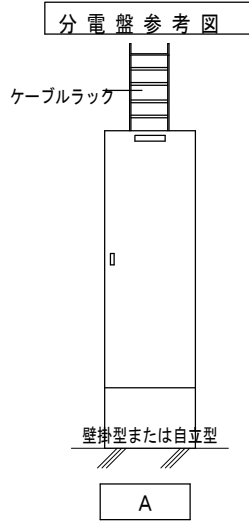
記号	名称	摘要
◻	電灯分電盤	壁掛型 (移設品: 撤去品を再使用)
◻	動力分電盤	自立型 (移設品: 撤去品を再使用)
◻	手元開閉器	3P150A
—	ケーブルラック配線	
- - -	既設・別途工事範囲	

※: E₀・E_{ELB}は、接地棒φ16x1,500の3連結とするが、規定値になるまで追加すること。

分電盤仕様注記

分電盤注記

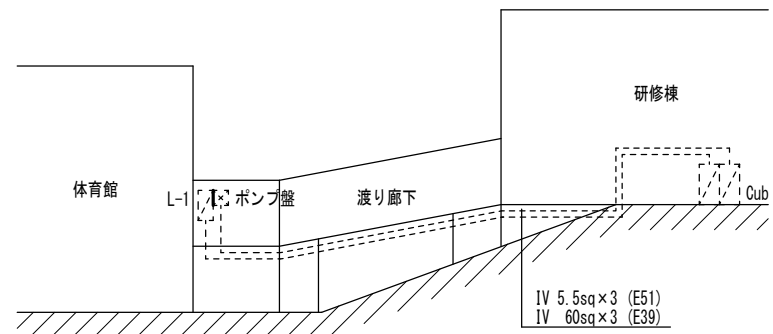
- 100V分岐回路で使用する2P50AF/20AT及び50AF/30ATのMCCB (ELCB)は、JIS協約型の1PサイズMCCB (ELCB)の2P1Eを標準とする。
- 200V分岐回路で使用する2P50AF/20AT及び50AF/30ATのMCCB (ELCB)は、JIS協約型の1PサイズMCCB (ELCB)の2P2Eを標準とする。
- 分岐回路で使用するブレーカは、全て協約型プラグインユニットブレーカとする。
- 分電盤は、外扉付きとし、製造業者標準品改造可能とする。図面ホルダー取付金具付きとする。
- 分電盤は、同相同列とする。
- 漏電遮断器は、感度電流30mA、動作時間0.1秒以内の—高感度・高速度形の雷インパルス不動作形とする。
- 分電盤には、接地端子台を内部側面に設ける。(ED・ED (ELB))
- 盤内は十分な、ガタースペース及び将来スペースを見込むものとする。
- 低圧回路用遮断器は新JIS規格対応品でも使用可能とする。
10. 塗装色はメーカー標準とする。
11. 盤名称は監督員と協議の上決定とする。
12. ホーム分電盤は既製品を利用するため、リストに合わせ2次側開閉器をELCBに変更すること。



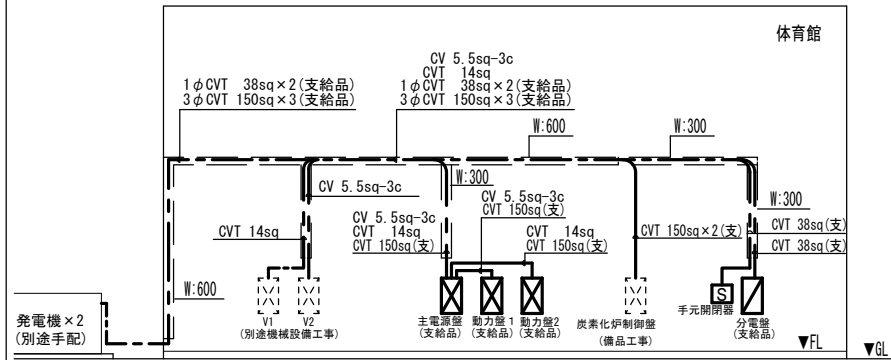
※：実験系統の分電盤、開閉器盤、動力盤は丸八(株)工場(福井県坂井市)から移設するものとする。移設にかかる詳細は 図 E-9 参照

□：改造部分及び接続箇所を示す。

一般系幹線系統図



実験系幹線系統図



分電盤名	回路種別主開閉器	回路No	分岐開閉器	電圧(V)	電灯負荷容量(VA)	コンセント負荷容量(VA)	備考	
L-1 IV 60sq×3 MCCB3P 225AF/125AT 1φ3W 100V/200V	X	A	MCCB2P 50/20	100		***	防災設備	
		①	MCCB2P 50/20	200	2,000		RM 天井照明	
		②	MCCB2P 50/20	200	800		RM 天井照明(非常照明)	
		③	MCCB2P 50/20	100		***	SP	
		④	ELCB2P 50/20	100	740	350		照明・換気扇
		⑤	ELCB2P 50/20	100		***		
		⑥	MCCB1P 50/20	100	700			コンセント
		⑦	MCCB1P 50/20	100	700			コンセント
		⑧	MCCB1P 50/20	100	700			コンセント
		⑨	MCCB1P 50/20	100	500			リモコントランス
		⑩	MCCB1P 50/20	100		***		
		⑪	MCCB1P 50/20	100				
		⑫	MCCB1P 50/20	100				
		⑬	MCCB1P 50/20	100				
合計:				NT×5				

既存のまま

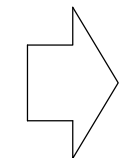
分電盤名	回路種別主開閉器	回路No	分岐開閉器	電圧(V)	電灯負荷容量(VA)	コンセント負荷容量(VA)	備考
主電源盤 (支給品) CVT 60sq H:700x W:500xD:250	X	動力盤1					CVT 150sq
		動力盤2					CVT 150sq
分電盤 (支給品) CVT 38sq H:1,100x W:500xD:120	X	101	MCCB2P 50/20	100		***	紡糸1
		102	MCCB2P 50/20	100		***	紡糸2
		103	MCCB2P 50/20	100		***	紡糸3
		104	MCCB2P 50/20	100		***	紡糸4
		105	MCCB2P 50/20	100		***	ローラー1
		106	MCCB2P 50/20	100		***	ローラー2
		107	MCCB2P 50/20	100		***	ローラー3
		108	ELCB2P 50/20	100		***	ローラー4
		109	ELCB2P 50/20	100		***	装置
		110	MCCB2P 50/20	100		***	装置
		111	MCCB2P 50/20	100		***	装置
		112	MCCB2P 50/20	100		***	予備
		113	MCCB2P 50/20	100		***	予備
		114	MCCB2P 50/20	100		***	予備
		115	MCCB2P 50/20	100		***	装置
		116	MCCB2P 50/20	100		***	装置
		117	MCCB2P 50/20	100		***	装置
		118	MCCB2P 50/20	100		***	装置
		119	MCCB2P 50/20	100		***	予備
120	MCCB2P 50/20	100		***	予備		
121	MCCB2P 50/20	100		***	予備		
122	MCCB2P 50/20	100		***	予備		
123	MCCB2P 50/20	100		***	予備		
124	MCCB2P 50/20	100		***	予備		
125	MCCB2P 50/20	100		***	予備		
126	MCCB2P 50/20	100		***	予備		
合計:				49.1 kW			

支給品を改造し使用する

分電盤名	回路種別主開閉器	回路No	分岐開閉器	電圧(V)	電灯負荷容量(VA)	コンセント負荷容量(VA)	備考	
L-1 IV 60sq×3 MCCB3P 225AF/125AT 1φ3W 100V/200V	X	A	MCCB2P 50/20	100		***	防災設備	
		①	MCCB2P 50/20	200	330		RM 天井照明 1~6	
		②	MCCB2P 50/20	200	000		予備	
		③	MCCB2P 50/20	100		***	SP	
		④	ELCB2P 50/20	100	740	350		照明・換気扇
		⑤	ELCB2P 50/20	100		260		ガス給湯機
		⑥	MCCB1P 50/20	100	700			コンセント
		⑦	MCCB1P 50/20	100	700			コンセント
		⑧	MCCB1P 50/20	100	700			コンセント
		⑨	MCCB1P 50/20	100	500			リモコントランス
		⑩	MCCB1P 50/20	100		***		
		⑪	MCCB1P 50/20	100				
		⑫	MCCB1P 50/20	100				
		⑬	MCCB1P 50/20	100				
合計:				NT×5				

分電盤名	回路種別主開閉器	回路No	分岐開閉器	電圧(V)	電灯負荷容量(VA)	コンセント負荷容量(VA)	備考	
主電源盤 (支給品) CVT 150sq H:700x W:500xD:250	X	動力盤1					EM-CET 150sq	
		動力盤2					EM-CET 150sq	
分電盤 (支給品) CVT 38sq H:1,100x W:500xD:120	X	101	MCCB2P 50/20	100		***	紡糸1	
		102	MCCB2P 50/20	100		***	紡糸2	
		103	MCCB2P 50/20	100		***	紡糸3	
		104	MCCB2P 50/20	100		***	紡糸4	
		105	MCCB2P 50/20	100		***	ローラー1	
		106	MCCB2P 50/20	100		***	ローラー2	
		107	MCCB2P 50/20	100		***	ローラー3	
		108	ELCB2P 50/20	100		***	ローラー4	
		109	ELCB2P 50/20	100		***	装置	
		110	MCCB2P 50/20	100		***	装置	
		111	MCCB2P 50/20	100		***	装置	
		112	MCCB2P 50/20	100		280		配管ヒーター
		113	MCCB2P 50/20	100		252		配管ヒーター
		114	MCCB2P 50/20	100		350		配管ヒーター
		115	MCCB2P 50/20	100		***		装置
		116	MCCB2P 50/20	100		***		装置
		117	MCCB2P 50/20	100		***		装置
		118	MCCB2P 50/20	100		***		装置
		119	MCCB2P 50/20	100		1,120		配管ヒーター
120	MCCB2P 50/20	100		560		配管ヒーター		
121	MCCB2P 50/30	100		***		予備		
122	MCCB2P 50/30	100		***		予備		
123	MCCB2P 50/30	100		***		予備		
124	MCCB2P 50/30	100		***		予備		
125	MCCB2P 50/30	100		***		予備		
126	MCCB2P 50/30	100		***		予備		
合計:				49.1 kW				

分電盤 名称	回路種別主開閉器	回路 No.	分岐 開閉器	電圧 (V)	機器容量 (KW)	配管配線サイズ	備 考
動力盤1 (支給品) CVT150sq H:1,900x W:600xD:200 盤姿図 (A)		0	ELCB3P 150/150	3φ200V	*** kW		予備炭化炉
		1	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		予備
		2	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		予備
		3	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		予備
		4	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		予備
		5	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		予備
		6	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		予備
		7	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		予備
		8	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		中型**器
		9	ELCB3P 50/20	3φ200V	*** kW		R
		10	ELCB3P 50/20	3φ200V	*** kW		R
		11	ELCB3P 50/20	3φ200V	*** kW		R
		12	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		巻き取り
		13	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		1浴
		14	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		2浴
		15	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		3浴
		16	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		4浴
		17	MCCB3P 50AF	3φ200V	*** kW		スマートエアー
18	MCCB3P 50AF	3φ200V	*** kW		予備		
							予備SP (協約型サイズ×6)
動力盤2 (支給品) CVT150sq H:2,100x W:600xD:200 盤姿図 (A)		1	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		水洗浴
		2	ELCB3P 50/40	3φ200V	*** kW		赤外乾燥炉
		3	ELCB3P 50/40	3φ200V	*** kW		赤外乾燥炉
		4	ELCB3P 50/50	3φ200V	*** kW		熱風乾燥炉
		5	ELCB3P 50/50	3φ200V	*** kW		延伸炉
		6	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		UW
		7	ELCB3P 50/40	3φ200V	*** kW		OVEN L
		8	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		FR 1
		9	ELCB3P 50/40	3φ200V	*** kW		M 2
		10	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		FR 2
		11	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		M 3
		12	ELCB3P 50/20	3φ200V	*** kW		R
		13	ELCB3P 50/20	3φ200V	*** kW		R
		14	ELCB3P 100/100	3φ200V	*** kW		PST
		15	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		赤面処理
		16	ELCB3P 50/20	3φ200V	*** kW		R
		17	MCCB3P 50/50	3φ200V	*** kW		サイジング
		18	MCCB3P 50/50	3φ200V	*** kW		予備
		19	ELCB3P 50/50	3φ200V	*** kW		巻き取り
		20	ELCB3P 50/50	3φ200V	*** kW		予備
		21	MCCB3P 50/20	3φ200V	*** kW		FAN A
		22	MCCB3P 50/20	3φ200V	*** kW		FAN B
							予備SP (協約型サイズ×10)



支給品を改造し
使用する

分電盤 名称	回路種別主開閉器	回路 No.	分岐 開閉器	電圧 (V)	機器容量 (KW)	配管配線サイズ	備 考
動力盤1 (支給品) CVT150sq H:1,900x W:600xD:200 盤姿図 (A)		0	ELCB3P 150/150	3φ200V	*** kW		予備炭化炉
		1	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		予備
		2	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		予備
		3	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		予備
		4	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		予備
		5	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		予備
		6	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		予備
		7	ELCB3P 50/10	3φ200V	0.3 kW	EM-EEF 2.0-3c (機械設備)	FE-1 (排気ファン)
		8	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		中型**器
		9	ELCB3P 50/20	3φ200V	*** kW		R
		10	ELCB3P 50/20	3φ200V	*** kW		R
		11	ELCB3P 50/20	3φ200V	*** kW		R
		12	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		巻き取り
		13	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		1浴
		14	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		2浴
		15	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		3浴
		16	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		4浴
		17	MCCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		スマートエアー
		18	MCCB3P 50/30	3φ200V	2.0 kW	EM-CE 5.5sq-3c	V2 (CT制御盤)
		19	MCCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		予備
20	MCCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		予備		
							※分岐ブレーカー追加
動力盤2 (支給品) CVT150sq H:2,100x W:600xD:200 盤姿図 (A)		1	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		水洗浴
		2	ELCB3P 50/40	3φ200V	*** kW		赤外乾燥炉
		3	ELCB3P 50/40	3φ200V	*** kW		赤外乾燥炉
		4	ELCB3P 50/50	3φ200V	*** kW		熱風乾燥炉
		5	ELCB3P 50/50	3φ200V	*** kW		延伸炉
		6	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		UW
		7	ELCB3P 50/40	3φ200V	*** kW		OVEN L
		8	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		FR 1
		9	ELCB3P 50/40	3φ200V	*** kW		M 2
		10	ELCB3P 50/10	3φ200V	*** kW		FR 2
		11	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		M 3
		12	ELCB3P 50/20	3φ200V	*** kW		R
		13	ELCB3P 50/20	3φ200V	*** kW		R
		14	ELCB3P 100/100	3φ200V	*** kW		PST
		15	ELCB3P 50/30	3φ200V	*** kW		赤面処理
		16	ELCB3P 50/20	3φ200V	*** kW		R
		17	MCCB3P 50/50	3φ200V	*** kW		サイジング
		18	MCCB3P 50/50	3φ200V	7.9 kW	EM-CET 14sq	V1 (冷却水循環ポンプ制御盤)
		19	ELCB3P 50/50	3φ200V	*** kW		巻き取り
		20	ELCB3P 50/50	3φ200V	*** kW		予備
		21	MCCB3P 50/20	3φ200V	*** kW		FAN A
		22	MCCB3P 50/20	3φ200V	*** kW		FAN B
							予備
							予備
							※分岐ブレーカー追加